

日本SF作家クラブ 50周年記念プロジェクト SFWJ50通信

VOL.11 ◆ 2013年11月号 ◆ <http://sfwj50.jp/>



増田まもる・林譲治=文

報告 第2回 国際SFシンポジウム (後篇)

● ジェンダーとアジアの名古屋大会

国際SFシンポジウム名古屋大会は、「21世紀SFの夢——ジェンダーとアジア」を演題に掲げて、7月25日に、椋山女学園大学星ヶ丘キャンパスの文化情報学部メディア棟で開催されました。異孝之さんの開会宣言につづいて、「SFとジェンダー、少女vs.女」と題した第1部は、司会に長澤唯史さん、コメンテーターに片桐翔造さんをお迎えして、パオロ・バチガルビさんとパット・マーフィーさんに大いに語っていただきました。「アジアSF: その可能性」と題した第2部では、司会に渡辺英樹さんをお迎えして、呉岩さん、タヤンディエー・ドゥニさん、立原透耶さん、YOUCHANさんが活発な討論をくりひろげてくれました。



名古屋大会第1部の様子。左よりパオロ・バチガルビ、パット・マーフィー、原田和恵(通訳)、片桐翔造、長澤唯史の各氏。



第2部。左より呉岩、立原透耶、原田和恵(通訳)、YOUCHAN、渡辺英樹の各氏。



東京大会第1部が終了して記念撮影。左より沼野充義、ダイナ・ルイス、増田まもる、高野史緒、新島進の各氏。



左より異孝之、谷甲州、夢枕獺、呉岩、パオロ・バチガルビ、パット・マーフィー、タヤンディエー・ドゥニの各氏。当日の様子は、ニコニコ生放送にてオンデマンド配信もされた。

● この不思議な地球の東京大会

「21世紀SFの夢——翻訳、日本、惑星の想像力」という壮大な演題を掲げた東京大会は、7月27日に城西国際大学 紀尾井町キャンパスで開催されました。東野司会長の開会宣言につづき第1部では、司会にダイナ・ルイスさんをお迎えして、沼野充義さん、高野史緒さん、新島進さん、私・増田まもるが「世界の中のSF翻訳」について語りました。

そしてシンポジウムの締めくくりともいえる第2部では、司会に異孝之さんをお迎えして、

パット・マーフィーさん、呉岩さん、タヤンディエー・ドゥニさん、夢枕獺さん、谷甲州さんが、「歴史、日本、この不思議な地球」と題して、SFの未来と可能性について語り合いました。

こうして、広島ではじまった第2回国際SFシンポジウムは、福島で幕を閉じました。(文=増田まもる)



講義を受ける海外ゲスト。左から、パオロ・バチガルビ、パット・マーフィー、原田和恵、呉岩、タヤンディエー・ドゥニの各氏。原田氏は全てのシンポジウムに同行し、通訳を務めた。

詳しくは「国際SFシンポジウム」Webサイト <http://sfwj50.jp/ISFS2/> まで。

● キャラバンの終着点は福島

東京大会の翌日、海外ゲストは2011年3月11日の東日本大震災によって大きな被害を受けた福島を訪れました。福島大学のご協力のもと、高橋準さんからは震災と原発事故と避難・福島の現状について、また関係者からは福島大学の避難所について、それぞれ講義をしていただきました。更には、福島市在住のSFファンや原発立地自治体出身者のショートスピーチにも耳を傾けました。

おしらせ 日本ロボット学会誌とのコラボレーション



ロボットはSFにおける重要なテーマの一つですが、日本ロボット学会は創立30周年を、日本SF作家クラブは創立50周年を迎えることから、両者のコラボレーション企画を立ち上げることに

なりました。そこで昨年、クラブ会員とロボット研究者が座談会を行い、その模様は〈日本ロボット学会誌〉Vol. 30 No. 10「創立30周年記念特集号—ロボット学会新世代：世界に向かって—」に掲載されました。さらに、ロボット学会との話し合いで、創作を含めたコラボレーション企画という案が立ち上がり、SF作家がロボット研究室を見学してレポートと短篇を執筆し、学会誌に掲載することになりました。詳細につきましては、次号でご紹介いたします。(文=林譲治)



日本SF作家クラブは、SF & ファンタジーの普及および発展に寄与することを目的として、1963年に設立された親睦団体です。2013年は50周年となります。「SFWJ50」は50周年記念プロジェクトです。
・日本SF作家クラブ <http://www.sfwj.or.jp/>
・twitter @sfwj

監修: 増田まもる / デザイン: YOUCHAN